

2024年度 SDGs 年次活動報告書
(2024年2月1日～2025年1月31日)

20 SDGs 24 report

Top Message

20
SDGs
24
report

代表取締役社長
竹村 圭祐

「すごい」サステナビリティを
全国に「シェア」していく。

2024 年度は、当社の中期事業計画の最終年度にあたり、4つの柱である「ファッション」「アスレジャー」「ライフスタイル」「サステナビリティ」を軸に、変化する経営環境に適応しながら、計画達成に向けて様々な取り組みを推進いたしました。

サステナビリティ分野においては、ファッションロス対策として、適量生産の精度向上、全国の店舗での回収ボックス設置、リユース推進などのサーキュラーエコノミーに関する取り組みを強化しました。また、地域連携の取り組みとして、長崎県壱岐市とエンゲージメントパートナー協定を締結するなど、新たな取り組みを始めています。また、CO2 排出量の算定や入会団体（Japan Sustainable Fashion Alliance、国連グローバルコンパクトなど）への積極的関与なども、着実に推進しております。

次年度は EXPO2025 大阪・関西万博への店舗の出展も決まっています。この店舗では主にサステナビリティに関する商品を展開することになっており、アーバンリサーチの理念に基づき、全社一丸となって「すごい」サステナビリティを全国に「シェア」していこうと思っています。

今後とも、引き続き、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Hot Topics

TOYOTA UPCYCLE × 豊島 × アーバンリサーチ 三社連携

「廃棄物のアップサイクルにファッションが持つ可能性を添え、アーバンリサーチの“すごい”ものとしてシェアし、世界を変えていきたい。」という想いと TOYOTA UPCYCLE、豊島の想いが共鳴し、環境・人・地域に優しいエシカルな変容を社会に起こしていくことを目指し、三社連携を開始しました。

三社連携第一弾として、2024年9月20日(金)～10月11日(金)の期間、アーバン・ファミマ!! 虎ノ門ヒルズビジネスタワー店にて「TOYOTA UPCYCLE POP UP STORE」を開催。自動車の製造工程で発生するリユース・リサイクルが難しい廃棄物を素材とした商品の展開をしました。



長崎県壱岐市との エンゲージメントパートナー協定を締結

株式会社アーバンリサーチは長崎県壱岐市とエンゲージメントパートナー協定を締結しました。壱岐市では、同市への共感や愛着を抱き、主体的に貢献しようとする企業団体等と、あるべき未来像に向けて、一緒に考え、双方の特長を活かして共創していくパートナー制度「壱岐市エンゲージメントパートナー制度」を設けています。アパレル企業と自治体との連携は、両者にとって今回が初となり、新しい文化への発信や新たな交流と、イノベーションの連携を生み出す、という理念のもと、お互いに寄与する共創関係を築こうと今回の協定が実現しました。





Move forward in our ways to SDGs
by URBAN RESEARCH Co.,Ltd.

株式会社アーバンリサーチは、SDGs に対して
企業風土を活かしたアプローチをするため「3C」というSDGs 基本方針を定めました。

中でも頭文字が「C」から始まる次の3つのテーマを中心に、アパレル企業視点で
個性を生かした取り組みを推進します。

右記の基本方針に則り、以下のとおり具体的な目標を定めています。



環境・社会課題の解決に貢献する商品や取り組みを積極的に取り入れ、
ステークホルダーのみなさまに向けて発信していきます。

2030 年までに、自社企画製品の衣料品と服飾雑貨の廃棄をゼロにします。

企業活動からでる温室効果ガスの削減に努め、2050 年までに
カーボンニュートラルを実現します。

あらゆる業界、企業、行政、非営利団体と連携し、未来につながる価値を創造し続け、
持続可能な環境・社会づくりに貢献します。

3C's Theme

1. Clothing Innovation / 衣料資源の有効活用

取り組み内容

- 1-1. サステナブル素材の活用
- 1-2. 生産量の適正化
- 1-3. アップサイクルの推進



Clothing Innovation

2. Clean Earth / 地球環境負荷の軽減

取り組み内容

- 2-1. 従業員の環境に対する意識向上
- 2-2. 環境問題に関するお客様との価値共感
- 2-3. 環境にやさしいオフィスづくり



Clean Earth

3. Community Building / コミュニティの形成

取り組み内容

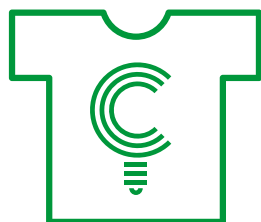
- 3-1. 地域の技術や特産品を活かしたモノづくり
- 3-2. 異業種や自治体・NPOなど多様なビジネスパートナーシップ
- 3-3. 人々が集まり価値を共有できる場所づくり



Community Building

「3C」の各目標における 24年度の活動実績

1



Clothing Innovation

衣料資源の有効活用

Clothing Innovation - 1

衣料品回収

2024年度より、SDGsの「つくる責任、つかう責任」という考えのもと、回収内容の拡大を目指し店舗に新回収BOXの設置を行いました。回収の取組を行うことで企業価値の向上や消費者から信頼を得ること、廃棄衣類を通じて来店へのきっかけ、コミュニケーションツールとしても機能することを目指しています。またお客様から回収した廃棄衣類は再販売や寄付を行うことで、環境負荷の軽減や児童養護施設の支援、障がい者雇用の創出につながっています。

2024年度の主な活動

新回収 BOX 設置店舗

81
店舗

Clothing Innovation - 2

commpost

commpost™

2024 年度は、サーキュラーエコノミーを目指すブランドとして社内体制を再構築し、commpost 事業のさらなる発展に注力。

具体的には commpost の生地シートの色味や品質安定化のため、社内で集まる廃棄衣料の仕分けルールを見直したことで、素材の均一性が向上し、製品の品質安定に大きく貢献しました。

また、前年度から取り組んでいた廃棄衣料由来のアパレル企画は通常の販売に加え、当社の「JAPAN MADE PROJECT」の一環としてイラストレーターの方とのコラボレーションにおいて、プリント T シャツのボディにも採用されその活用範囲を大きく広げました。さらに、目標としていた commpost 素材を活用した BtoB 事業は、継続して取引をしているホテル備用品の商品の受注点数を大幅に伸ばすことができました。次年度は大阪万博への出店も決定しており、これを機にさらなる事業拡大に注力してまいります。

2024年度の主な活動

【24/02/01-02/13】commpost × HININE NOTE DIARY CUSTOM ORDER を開催。

【24/03/17】SDGs 探究 AWARDS 2023 に協賛。受賞者へ commpost 商品を贈呈。

【24/06/10】commpost 素材を使用した社内備品の作成を開始。

【24/08/16-09/01, 24/09/13-09/30】NORIKAZU HATTA との別注商品に commpost の T シャツを採用。

【24/10/04-10/18, 24/12/02-12/22】commpost 期間限定 WEB 限定セットを発売。

【24/10/30-11/20】「木と暮らしの制作所」との別注商品に commpost の T シャツを採用。

commpost × HININE NOTE DIARY CUSTOM ORDER を開催



倉敷紡績株式会社及び株式会社 藤高を新たなパートナーに迎えて廃棄繊維由来のウェアを発売



Clothing Innovation - 3

Green Down Project



株式会社アーバンリサーチは、グリーンダウンプロジェクトの一員として、羽毛製品の回収とリサイクルダウンの商品企画に積極的に関わり、羽毛循環サイクル社会に貢献しています。2025年1月末時点で、10ブランド132店舗にて回収、内82店舗にて回収ボックスを設置し、継続的にお客様へ回収を呼びかけています。

また、今年度は衣類回収BOXとしてグリーンダウンプロジェクトの回収のみではなくそのほかの衣類も回収できるようにボックスを新しいボックスに変更を行いました。

2024年度 GREEN DOWNを使用した商品の仕入れ点数
(オリジナル)

25品番 (総生産数 約34,000点)

2024年度当社における
羽毛製品の回収量 **約855kg**



Clothing Innovation-4

古着バトン



2022年度より、一般社団法人ミライバトン研究所によって国内の廃棄衣料問題の解決に向け立ち上げられた、古着回収と販売を行う取り組み「古着バトン」に参加しています。2024年度は、取扱い店舗の増加や、関連イベントへの出店に伴い、対象となる古着の回収及び本取り組みの認知拡大につなげることができました。古着バトンの活動から生まれた利益は、一般財団法人みらいこども財団様へ寄付いたしました。同団体では、全国の児童養護施設にいる子どもたちの心のケア、教育・就業支援、居場所作りなどに活用していただきます。



Clothing Innovation-4(2)

古着バトン

2024年度 本取り組みにおける、当社の古着の回収点数

回収枚数 15,320 枚
回収店舗：67 店舗

※取扱不可アイテムを除く

2024年度の主な活動

【24/03/23-03/24】「ラゾーナエシカルマーケット」に参加。

【24/04/07】古着の回収と再循環のお祭り「循環フェス」に出店。

【24/11/03】古着の回収と再循環のお祭り「循環フェス」に出店。

【24/11/26】当社衣料品を施設への寄付等に活用いただくため、一般社団法人ミライバトン研究所へ譲渡。

回収キット及び古着バトン（古着） 2024年度取り扱い店舗

URBAN RESEARCH KYOTO

URBAN RESEARCH Store バルコヤ上野店

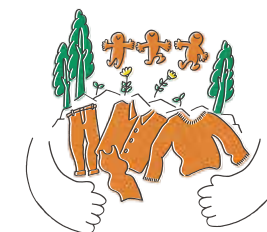
URBAN RESEARCH Store 東京スカイツリータウン・ソラマチ店

URBAN RESEARCH Store イオンレイクタウン mori 店

URBAN RESEARCH Sonny Label ラスカ茅ヶ崎店

THE GOODLAND MARKET 堀江店

URBAN RESEARCH warehouse THE OUTLETS HIROSHIMA 店



Clothing Innovation - 5

サステナブル素材の活用

2024 年度は、引き続き第三者機関と連携し、サステナブル素材、及び商品の自社基準を更新。対象となる素材や商品を追加するなど、自社における対象品番の増加に努めました。また、サステナブル素材活用商品を増やしていくために、社内向けの展示会の中で、サステナブル素材の紹介を実施。いくつかのお取引先様のご協力の元、生地サンプルを用意し各ブランドの取り組み状況や課題について理解することができる場となりました。

2024 年度の主な活動

【24/06/07】漂着ペットボトル等を製品として蘇らせる“UpDRIFT”の取り組みに Sonny Label が参加、Tシャツを製作。

【24/08/09】「Grow Organic × URBAN RESEARCH DOORS」プレオーガニックコットンを使ったアイテムの発売がスタート。

【24/08/09-11/08】「Grow Organic × URBAN RESEARCH DOORS」インドからの想いを紡ぐキャンペーンを開催。

【24/10/15-】社内サステナブル素材基準の更新。

【24/11/05-11/07】社内展示会にてサステナブル素材の紹介を実施。

Clothing Innovation - 6

生産量適正化に向けた取組

2024 年度は、生産量適正化に向けて下記項目を実施しました。

- ・ MD シーズンの細分化
- ・ AI を使った商品在庫システム利用
- ・ BI ツール活用の進化
- ・ 販売先の多様化
- ・ 天候情報の活用による販売予測

引き続き、最新のマーケティングデータや IT 技術活用などにより、新たなアプローチを模索するなど、様々な方法で生産量の適正化を図っていきます。

ファッションロスゼロを目指し、今後も様々な施策を実施する予定です。

Clothing Innovation - 7

廃棄に対しての取組み

企業運営のなかで、汚れなどの理由からお客様に提供できない製品が発生してしましますが、そのような製品を可能な限り廃棄にしないように取り組みを行っています。

2024 年度の当社の生産数に対して廃棄した数の割合は 0.32% でした（衣料品、及び服飾雑貨の廃棄率）。引き続き生産量適正化に向けた取組を実施することで、無駄な商品の生産を抑えるとともに、自社倉庫で実施した「B 品市」や、各施設で実施しているアウトレットの催事や外部イベントへの参加を通じて在庫品や規格外品の販売を進めました。今後も、廃棄に回ってしまう商品を生み出さないよう努めていきます。

2024 年度の主な活動

【24/02/17】「GOOD 2nd MARKET」UR 社で保管していた什器のガレージセールを開催。

【25/01/18-01/19】URBAN RESEARCH B 品市を URDC 鶴見にて開催。

LIMITED OFF PRICE STORE 13 回

SAMPLE FAIR 2 回



「3C」の各目標における 23年度の活動実績

2



Clean Earth

地球環境負荷の軽減

Clean Earth - 1

SDRの活動

SDR (Sustainability Development Research) は社内の各部署、各課をまたぎ、アーバンリサーチなりのSDGsの取り組みを考えるチームとして2018年に発足。2022年2月1日より正式に組織化されました。

SDRでは、従業員の環境に対する意識向上を目的に2024年度は以下の内容に取り組みました。

SDR 通信 / その他社内啓発に関する配信

SDGs や SDR(3C) の周知及び社内スタッフのリテラシー向上を目的とし、社内向けに1ヶ月に1回配信している社内報「SDR 通信」。それに加えSDGsに関する日を、社内スタッフの認知拡大や意識の強化を目的に配信しています。

2024 年度の配信数

SDR 通信：全13件配信
社内啓発配信：7件配信

SDGs 勉強会

「3C」の理解浸透、及び社内スタッフのSDGsリテラシー向上を目的とし、オンラインによる勉強会を不定期で実施しています。また、この勉強会の様子はアーカイブ動画として社内スタッフがいつでも視聴できるようにしています。

勉強会以外にも不定期でアンケートを実施し、社内スタッフのSDGsについての意識や興味、関心、行動を知ることでの今後の施策等の検討を行っています。

2024 年度の開催数

勉強会：1回／座談会：1回

【24/08/29】「JAPAN MADE PROJECT」ONLINE 座談会を開催。

【24/10/02】勉強会「URと他社の取り組み事例から知るサステナビリティ」を開催。

SDGs 興味関心アンケート

【24/10/22-11/06】

全社員スタッフ向け、SDGs 興味関心アンケートを実施。

Clean Earth - 2

アーバン・ファミマ!!

「アーバン・ファミマ!! 虎ノ門ヒルズビジネスタワー店」では、店内什器や壁紙を始めとする内装材など、内装全体の70%をサステナブルな要素でデザインしています。昨年に引き続き、POP UP SHOP など、年間を通して積極的にイベントを開催し、お客様への発信・価値観の共有の場としてきました。

さらに、今年度は TOYOTA 自動車の POP UP イベントを行いトヨタ自動車との今後の取り組みにつながるイベントとなりました。

また、10月19日(土)よりアーバン・ファミマ!! 虎ノ門ヒルズビジネスタワー店にて、株式会社アーバンリサーチが運営するレーベル、THE GOODLAND MARKET (以下、TGM) による「GOOD SUPER MARKET」をテーマとした大規模なイベントを開催いたしました。店内全体を TGM のコンテンツを展開することで新たなアーバンリサーチの“面白い”を発信する場になりました。

2024年度の主な活動

SHARE THE LOCAL イベント 2回開催 / JAPAN MADE PROJECT POP UP 2回開催
TOYOTA UPCYCLE POP UP 開催 / GOOD SUPER MARKET 開催



Clean Earth - 3

清掃活動

当社のSDGs基本方針「3C」の1つである「Clean Earth(地球環境負荷の軽減)」の目標に準じて、当社のオフィスや店舗周辺の清掃活動の実施、及び外部の清掃活動へ参加しております。2024年度の主な活動内容は以下の通りです。

2024年度の主な活動

【24/04/22】

THE GOODLAND MARKET 堀江付近の
清掃活動実施

【24/05/19】

Sonny Label ビーチクリーン &
ビーチヨガ 開催

【24/10/27】

Sonny Label ビーチクリーン 開催

【24/11/03】

Sonny Label ビーチクリーン 開催



Clean Earth - 4

分別作業

当社は、店舗等から集まってくる廃棄衣料品について、自社の責任として、当社の物流倉庫にて定期的に廃棄衣料品の分別作業を行っています。分別後の廃棄衣料品については、当社の廃棄衣料品のアップサイクルブランド「commpost」の原料や、寄付として活用しています。

分別後の廃棄衣料の
主な活用先

- ・ commpost の生地シートの原料
- ・ Green Down Project (羽毛製品)
- ・ 寄付 (Bridge Asia Japan)
- ・ リメイク (福井県の繊維産業との取組)
- ・ リユース (海外)

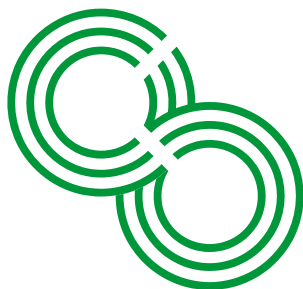
Clean Earth - 5

GHG 排出量 (Scope1~3) の算定

温室効果ガス排出量の把握、及び削減を目指し、昨年に引き続き過去の排出量を進めました。今後も継続的に「Scope1~3」の算定に取り組むとともに、今回の算定を踏まえ、自社以外を含めたサプライチェーン全体での CO2 排出量の更なる削減を目指します。

「3C」の各目標における 23年度の活動実績

3



Community Building

コミュニティの形成

Community Building - 1

UR テラス



2024年度は、URテラス設立から5年が経ったという事もあり、初心に帰ったつもりで改めて社内の声に耳を傾ける事を念頭に置いて、社内諸制度の見直しをはじめました。一番の課題は、個々の業務効率・生産性の向上のため業務量の見える化、そして質を担保するためのOJTや外部資格取得をサポートする制度開発をしました。今後も社員の活躍を促し、新しい時代のためのビジョンを策定・共有し、活気ある職場づくりのための制度見直しを進めてまいります。

2024年度の主な活動

【24/02/20-02/21】りそな銀行様による金融セミナーを実施。

【24/03/01】資格取得支援制度を導入。

【24/03/14】厚生労働省の「もにす認定」を取得。

【24/07/12】大阪府障がい者サポートカンパニー優良企業として登録。

【24/10/04】当社社員が大阪労働局 優秀勤労障がい者表彰を受賞。



Community Building -2

JAPAN MADE PROJECT



“日本の地域は面白い”というコンセプトのもと、地域の方々とともに、おもしろさや課題に向き合いながら、未来につながる地域の“すごい”を発信する取り組み「JAPAN MADE PROJECT（ジャパン メイド プロジェクト）」。

地域のなかで“おもしろい”活動をしている人たちと共に、取り組みを行っています。その中で、この一年価値ある新規企画を共創することを目指し、新しい地域との連携とプロダクトの開発を中心に活動を行いました。

今期は、TINY GARDEN FESTIVAL アシックス里山スタジアムのサテライトイベントとして開催された「EHIME MADE」の監修、Kyoto Crafts Exhibition DIALOGUE との連携開始など、パートナーたちと新たな取り組みにチャレンジしてきました。

来期も JAPAN MADE PROJECT として大切にしている「人」との繋がりをより広く、深くしていき日本のおもしろさを発信していきたいと考えています。

2024 年度の主な活動

【24/05/24 - 05/26】 PAPERSKY Little Local Market に JAPAN MADE PROJECT が出展。

【24/06/06】 JAPAN MADE PROJECT OSAKA より新規プロダクト「ahaha」を発売。

【24/11/07】 Kyoto Crafts Exhibition DIALOGUE との連携を開始。

【24/11/29】 JAPAN MADE PROJECT TOKYO「小杉湯となり」を運営する「銭湯ぐらし」とのコラボレーション商品を発売。

【24/12/13 - 12/15】 アミュプラザ長崎 かもめ広場で開催される「@stand.」に出店。

EVENT & POPUP 27回開催 / SHARE THE LOCAL イベント 4 回開催



JAPAN MADE PROJECT TOKYO「銭湯ぐらし」



JAPAN MADE PROJECT OSAKA「ahaha」

Community Building -3

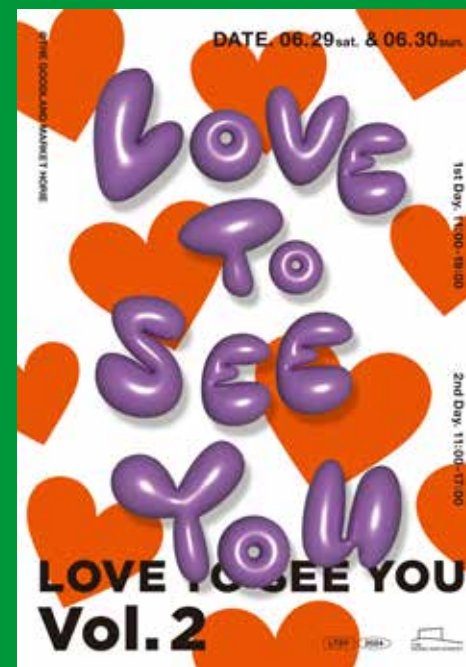
THE GOODLAND MARKET



TGMブランドの価値を高め、ファッションとライフスタイルを軸にしたリーディングブランドとなることを目標に掲げ2024年はやってきました。その為にはブランドに沢山のファンがつくコトが大事だと考えています。特にTGMのブランドらしさを打ち出す為に SNS、お店でのイベントなどに力を入れ、その成果から認知度もアップした様に感じます。ブランディングは日々の積み重ね。スタッフ、商品、環境全てがブランディングに繋がっているので、今期も引き続き魅力あるブランドづくりに力を入れていきます。

2024年度の主な活動

- 【24/03/08-03/24】ニットブランド「KNT365」のPOP UP を開催。
- 【24/03/23-04/07】CAMPER 循環型シューズ「ROKU」のカスタマイズイベント開催。
- 【24/05/11-05/26】PLAYFUL MAG POP UP & Dog Shelter による保護犬譲渡会の開催。
- 【24/05/29-06/04】NewMake とのコラボレーションショップ「THE GOODLAND (NEW) MARKET」を限定開催。
- 【24/06/08-06/23】地球との共生を意識したライフスタイルを提案するブランド“SEAGREEN”のPOPUP を開催。
- 【24/06/29-06/30】LOVE TO SEE YOU Vol.2 を開催。
- 【24/07/27-08/04】CYAARVOビーチサンダル作りのワークショップを開催。
- 【24/08/09-08/12】UR Store タカシマヤゲートタワーモール店にて「TGM Lucky Market」を開催。
- 【24/10/19-25/01/31】アーバン・ファミマ!! にて THE GOODLAND MARKET のPOP UP「GOOD SUPER MARKET」を開催。
- 【24/12/07-12/08】Clap Lulu B” による能登半島地震復興支援のイベントを開催。
- 【25/01/04-01/19】初のチャリティイベント「GOOD CHARITY MARKET」を開催。



「LOVE TO SEE YOU Vol.2」を開催



Clap Lulu B” による能登半島地震復興支援のイベント



Community Building -4

TINY GARDEN 蓼科



2024年度はキャンプ・宿泊施設であるTINY GARDENの来訪者の滞在価値を上げ、より幅広い方に利用していただけるようサービス展開を広げていきました。具体的な活動としてはふるさと納税や HafH サービススタート、伐採した木材を利用した遊具で遊べるキッズパークのオープンなど、ハード面及びソフト面を整備しました。

また、端材を集め作ったコンポストで施設で調理の際出た生ごみや施設内の落ち葉を集め、堆肥を作るといった環境への取り組みも積極的に行いました。

キッズキャンプでは、登山などのアクティビティの他に地元企業と連携し、施設内の樹木を使ったグリーンウッドワークや諏訪地域の名産品の「寒天」を製造する、老舗寒天業者へ工場の見学など自然に寄り添う暮らしや地域文化に触れる、普段体験できない時間を創出しました。

2024年度の主な活動

- 【24/03/23-04/07】親子で楽しめる週末イベントを開催。
- 【24/03/28-03/29】キッズキャンプ at TINY GARDEN 蓼科を開催。
- 【24/04/29-】TINY GARDEN 蓼科にて愛犬と泊まるキャピンステイの受付がスタート。
- 【24/07/10-】TINY GARDEN 蓼科 TINY KIDS PARK 誕生と蓼科湖スタンプラリーの開催。
- 【24/07/20-07/21】EKAL member's camp at TINY GARDEN 蓼科を開催。
- 【24/07/24-07/26】KIDS CAMP 2024 夏を開催。
- 【24/11/09-11/10】EKAL member's camp at TINY GARDEN 蓼科を開催。
- 【25/02/21】Let's play Board Games! in TINY GARDEN を開催。

Community Building -5

ぐるぐるふくい2024
produced by フクミラ

本年度、ファッション業界が抱える大量廃棄問題に取り組み、福井の繊維産業が持つ高度な技術を生かして、廃棄予定だった衣料を新たな価値に再生させるプロジェクト「ぐるぐるふくい」に参加しました。

当社では、リメイクプロダクトとして廃棄予定のアーバンリサーチの製品をリメイクし、福井の各事業者が持つ技術力、企画力を活かして新しい商品に生まれ変わらせました。



Community Building -6

箕面高校「総合的な探究
の時間」の授業への協力

本年度、大阪府立箕面高等学校の第二学年を対象した「総合的な探究の時間」におけるMICC（Minoh Idea Creating Corporation）というプロジェクトの提携企業の一つとして当社が参加しました。

このプロジェクトは、生徒たちが実社会や実生活と自己の関わりから課題を見つけ、その解決に向けて主体的に取り組む力を育むことを目的としています。特に、VUCA 時代にグローバルに活躍できるリーダーシップ教育を目指し、プロジェクトベースの授業を通じて社会人として通用する基礎的・汎用的能力の育成を図っています。

当社は、箕面高校の生徒たちが持つファッションや流行への高い関心と、当社が箕面市の「暮らしづくりネットワーク北芝」とも連携して展開しているブランド「commpost」との縁を感じ、アパレル企業としてこの取り組みへの協力依頼をお受けしました。生徒たちは当社の事業活動を題材に、新たな価値創造やより良い社会の実現に向けた提案活動に取り組みました。

今回の参加を通じて、未来を担う若い世代の探求学習を支援できたことを大変光栄に思います。今後も地域社会との連携を深め、教育活動への貢献を積極的に行ってまいります。

Community Building -7

TINY GARDEN
FESTIVAL

URBAN RESEARCH Co., Ltd. presents
**TINY GARDEN
FESTIVAL²⁴**

2023年に引き続き、2024年も蓼科・今治を拠点に2度のTINY GARDEN FESTIVALを開催しました。

6月に蓼科で開催した際は、より地域に根ざしたイベントを目指し地元蓼科を中心に長野県を拠点に活躍する出店者を多く迎えました。

加えて、JAPAN MADE PROJECTにて石川県の「工房ヒゲキタ」さんをお招きして段ボールでティラノサウルスになれる帽子をつくるワークショップや、URBAN RESEARCH DOORSではブランドのライフスタイルを体験できる茨城県笠間の陶芸作家、石松信彦さんを講師としてお招きし、電動ろくろを使った陶芸体験を実施するなど、そのイベントでしか体験できない新しい要素も加え、より大人も子供も楽しめるイベントとなりました。

9月の今治開催も、多くの方に足を運んでいただけるようにFC今治の試合を観戦いただけるようにパブリックビューイングを開催。

加えては四国で活躍する出店者を中心にブースを展開することで、香川県や徳島県など出店者も風土にあった空気を作ることができました。

2024年度の主な活動

【24/06/15-06/16】TINY GARDEN FESTIVAL 2024 in 蓼科を開催。

【24/09/21-09/22】TINY GARDEN FESTIVAL ASICS SATOYAMA STADIUM 2024を開催。



「TINY GARDEN FESTIVAL 2024 in 蓼科」



「TINY GARDEN FESTIVAL ASICS SATOYAMA STADIUM 2024」

Community Building -8

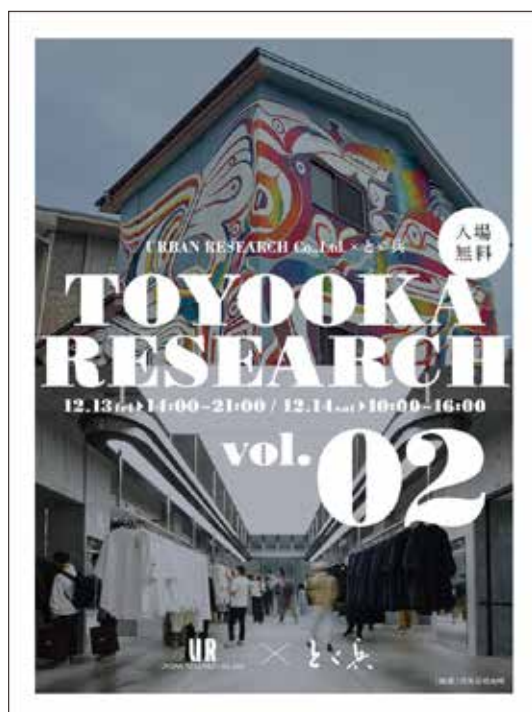
その他の取り組み

上記項目以外の「community building」に関する取り組みについて、本年度の取り組みは、以下の通りです。

2024年度の主な活動

【24/03/09-24/03/10】大阪府・大阪市 万博シティドレッシング
サコッシュワークショップをアーバンリサーチ監修の元、開催。

【24/12/13-12/14】URBAN RESEARCH Co.,Ltd. × とゞ兵 TOYOOKA RESEARCH を開催。



その他の活動

3Cの各目標達成に直結する取り組みではありませんが、関連する活動についてご報告いたします。

イベント登壇・講演

24年度、以下の外部セミナー等に登壇し、3Cに関連する取り組みをご紹介いたしました。

【24/11/17】ぐるぐるふくい エドウィン × アーバンリサーチ / 萩原執行役員登壇

【25/01/21】トヨタ自動車 × アーバンリサーチ × 豊島 ウェビナー / 萩原執行役員登壇



その他の活動

シェアクラブ

当社では、シェアクラブ制度を導入しています。

シェアクラブとは、社員の趣味、特技、興味のあることを通じて創る「すごいをシェアする」コミュニティであり、資金や活動場所を提供することで、スタッフのやりたいことを実現していく取り組みです。

LAKE SEEKER'S

2024 年度より活動のメインを大会開催に据え、今年は 5 月に関東の亀山ダム、10 月に関西の室生ダムにて「SEEKER'S CUP」という名で釣り大会を開催しました。

プロの方や著名な方もゲストとしてお招きし、釣りという共通の趣味を楽しむことで多くの方々と交流を深めることが出来ました。

引き続き 2025 年度も「SEEKER'S CUP」を軸に、社内外問わず多くの人にコミュニティに参加して楽しんでもらえるような活動をしていこうと考えています。

2024 年度 実績

EVENT

【5月】第2回 SEEKER'S CUP を開催。

【6月】TINY GARDEN FESTIVAL に出店。

【10月】第3回 SEEKER'S CUP を開催。

COLLABORATION

ELECTRIC×LAKE SEEKER'S
WILD THINGS×LAKE SEEKER'S
TASF×LAKE SEEKER'S

LAKE SEEKER'S について

ファッションと釣りをより楽しむ為のライフスタイルを追求する、アーバンリサーチのコミュニティから生まれたフィッシングクルー。



その他の活動

シェアクラブ

ママシェアクラブ

2024 年度はインスタグラムでのリール投稿が主な活動となり働くママの日常コーデや着回し、DOORS キッズのお洋服着回しなど ... 社内の方にもお力添えいただきました。

業務編成変更の影響などもあり活動に参加できなくなったメンバーも出てきてしまい、インスタ投稿も滞り後半はほぼ MT も実施する事すら難しい状況でした。

ただ、休日には産休中のママを含めママシェアのメンバーでランチ会を開催。

日頃抱える子育ての悩みや、小学校・習い事事情など、話は尽きる事なくお迎え時間まで有意義な時間を過ごしました。



2024 年度の主な活動

【24/02/13】

卒入園に何を着る？ママの着回しコーデ 8 選

ママシェアクラブについて

アーバンリサーチの社内で働く“ママ”。オフィス勤務から店頭勤務まで、様々なスタッフが在籍しているママ集団です。

そんな働くママたちが抱えるリアルな悩みや便利なアイデアをそれぞれが持ち寄り、特集や企画を考案することも。

日々暮らしに新たな発見や嬉しい気づきを生み出すべく活動しています。

その他の活動

加盟団体・パートナーシップ

皆さまからのご要望や環境・社会の変化を理解し、事業の見直しを継続的に行ってまいります。その一環として、外部団体と連携し、ファッション業界に係る課題解決に向けて取り組んでいます。

- UN GLOBAL COMPACT
- The Valuable 500
- 名古屋市エンゲージメントパートナー
- 「TEAM EXPO 2025」プログラム
- JAPAN SUSTAINABLE FASHION ALLIANCE

目標達成に向けて

SDGs 基本方針「3C」の達成に向けて、下記の取り組みを実践しています。

目標の細分化と進捗管理

2030 年までの長期目標と 3 ヶ年中期計画の立案を行っています。また、それに基づいて年度別の施策を 3C のテーマ毎に決定し、目標の細分化を図っています。成果の進捗状況は、SDR によって管理しています。

定期的な評価と課題の整理

目標達成に向け、定期的な実績に対する評価を行っています。進捗状況によっては、課題の整理を行ったうえで、達成へ向けた施策案について再検討しています。

国連グローバルコンパクトの原則の実践

当社は、国連グローバル・コンパクトの定める 4 分野（人権、労働、環境、腐敗防止）、10 原則の実践に努めてまいります。

従業員が活躍できる環境づくり

従業員が安全かつ衛生的な環境で仕事を行えるようにサポート体制を整えています。

対象の全従業員に向けて
ストレスチェックを実施

会社と社員での協定を結び
適正に労働時間を管理

人権への取り組み

企業活動の前提として基本的人権の尊重を掲げ、コンプライアンスの一環として全従業員に周知しています。

人権の尊重による差別の禁止

ハラスメントの禁止

個人情報・機密情報の適切な管理

情報システムの適切な使用

腐敗防止への取り組み

当社では、公正で倫理的な事業活動を行うため、下記の取り組みを実践しています。

内部監査室及びコンプライアンス委員会の設置

法令順守を確保するための組織体制を構築しています。行動基準として「コンプライアンス・マニュアル」を定め、内部通報窓口として「コンプライアンス・ホットライン」を社内に 2 か所、社外に 1 か所設けています。また、社内弁護士が所属する法務部門から事業部門に法改正情報を提供し、法律相談に応じる体制を整えるとともに、定期的に社員向けのコンプライアンス研修を実施しています。

ガバナンス体制の強化

執行役員制度を導入し、経営の意思決定と業務執行の機能の分離を図り、迅速な経営判断・業務執行を行っています。更に、監査役・内部監査室・会計監査人の 3 者が連携して、業務がルールに基づき適切に執行されているかなど、定期的に監査しています。

20 SDGs 24 report

About us

〈名称〉

株式会社アーバンリサーチ

〈本社住所〉

大阪府大阪市西区京町堀1丁目6-4
アーバンリサーチビル 10F

〈設立〉

1989年11月8日

〈資本金〉

1,000万円

〈事業内容〉

メンズ・レディースウェアなどの
企画・販売・製造及び付随業務

